

ドイツ連邦特許裁判所の新長官にビアーテ・シュミット氏

2011年5月10日

JETRO デュッセルドルフ事務所

ドイツ連邦特許裁判所は、5月3日、同日付けでビアーテ・シュミット (Beate Schmidt) 氏が新長官に就任した旨、プレスリリースを行った。ドイツ連邦特許裁判所の前長官であるライモンド・ルッツ氏が2011年1月1日に欧州特許庁 (EPO) の副長官に就任した後、長官が不在となっていた。

シュミット氏は、1994～1997年にドイツ連邦特許裁判所の判事を務め、1997～2006年にはドイツ特許商標庁において商標部長などのポストを経た後、2006年に欧州共同体商標意匠庁 (OHIM) に移り、2009年からは無効・訴訟部長として欧州連合司法裁判所における OHIM 審判部の決定の弁護などの業務を担当していた。

同プレスリリースによれば、シュミット氏は、経験豊富な弁護士で、国際的にも知名度の高い専門家であるため、知財と管理における国内レベルおよび国際レベルの両方での活躍が期待されるとしている。

ー ドイツ連邦特許裁判所のプレスリリースは、以下参照 ー

[Pressemitteilung com 03.05.2011](#)

ー ビアーテ・シュミット氏の経歴は、OHIM のウェブサイトを参照 ー

[Beate Schmidt](#)

ー ルッツ氏の EPO 副長官就任については、欧州知的財産ニュースを参照 ー

[欧州特許庁の次期副長官にミノエ氏とルッツ氏を任命 \(2010年10月29日\) \(PDF\)](#)

(以上)